



令和8年1月23日

メープル小「自慢できることランキング」

校長 古畑 聡子

令和8年がスタートしました。本年も、よろしくお願いいたします。

2学期終業式の校長講話では、「メープル小の自慢できること」ランキングを発表しました。事前に、アンケートに自慢できることを書いてもらい集約すると、なんと75項目もありました。それをランキングにまとめて子供たちに発表しました。

1位は、やはり「自分たちで決められる」(11名)でした。本校のスローガン「子どもが自分で決める学校」が、子供たちにも先生方にもしっかり定着していることを嬉しく思いました。そして、2位は「なかがいい(なかよし)」(10名)、3位は「色々な行事や体験ができる(おもしろい)」(9名)、「人数が少ない」(9名)でした。人数が少ないことを肯定的に受け止め、仲良くのびのび過ごせる環境であると感じてくれているようです。終業式では75項目全てを発表しましたが、「それ、書いた!」とか「おお~!」などの子供たちの反応も面白かったです。

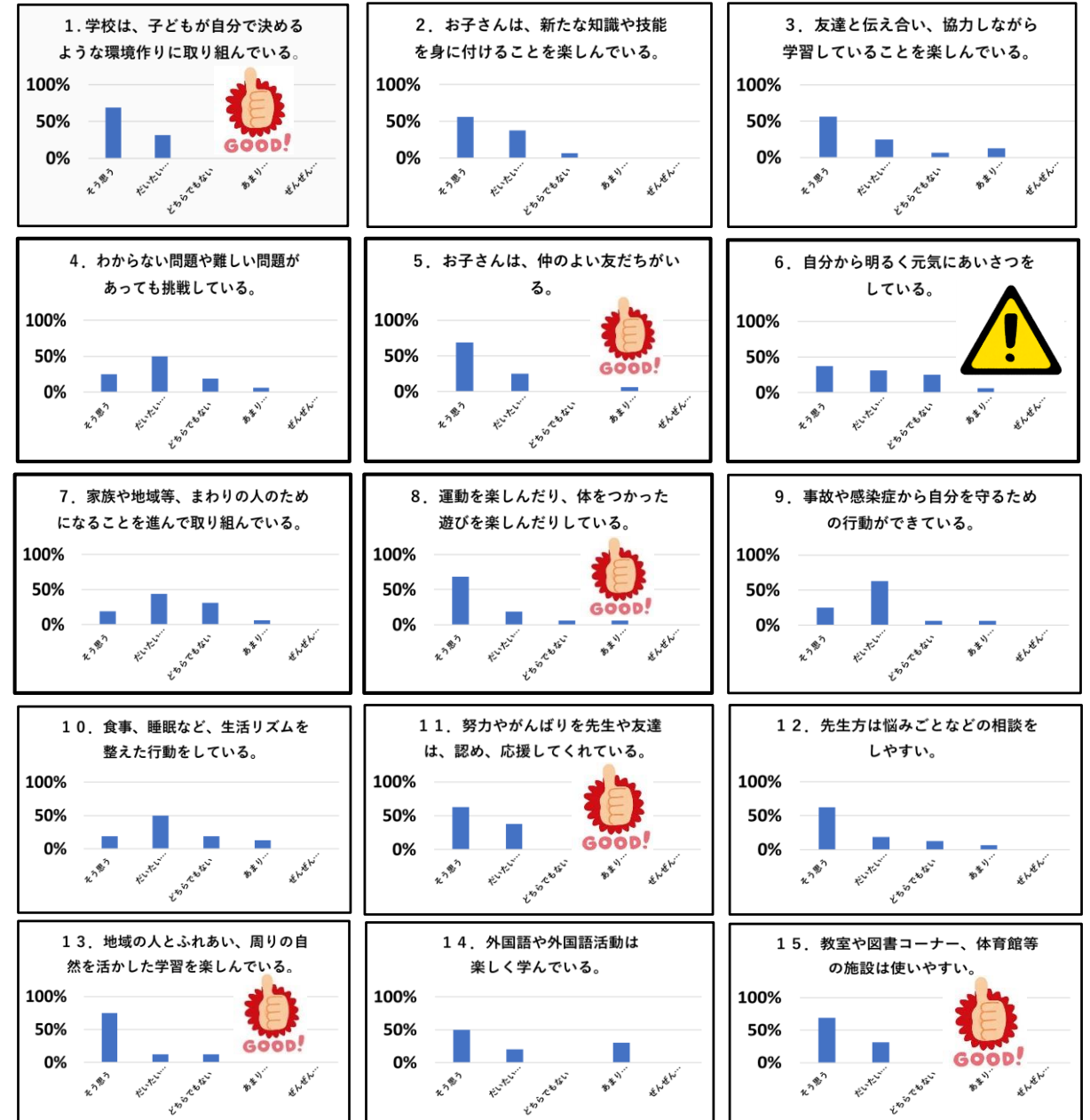
最後に、講話のまとめとして、「自分の自慢できるところ(良いところ)も考えてみてください」と促すと、6名が自ら立って発表してくれました。

今回のアンケートで、子供たちのメープル小への思いを知ることができました。また、これまで気づかなかった良いところにも改めて気づくことができたと思います。今後も、みんなでもっともっと自慢できる学校にしていきたいと思います。

また、「自分の自慢できるところ」については、学校評価の児童アンケート「自分には良いところがある」という質問への肯定的な回答は約6割でした。たとえ勉強や運動に自信がもてなかったとしても、人に優しくできる、約束を守れる、お礼が言える、責任感があるなど、どの子にも長所がたくさんあるのに自覚していないのが残念です。学校でも、長所を見つけて褒めるようにしていますので、ご家庭でもお子さんが自分の良いところに気づき、自己肯定感を高められるような声掛けをお願いします。

2学期の学校評価保護者アンケート結果

学校評価アンケートに多くの保護者の皆様にご回答いただきありがとうございました。保護者アンケートの集計結果をお知らせいたします。なお、分析の掲載については紙面の関係で特徴的な設問のみとなっております。ご了承ください。



「1.子どもが自分で決めるような環境づくりに取り組んでいる。」と「11.努力やがんばりを先生や友達は認め、応援してくれる。」など、1学期に引き続き肯定的な回答を多数いただきました。今年度のテーマである「子どもが自分で決める学校」について大きく評価いただいたものと考えます。しかし、「6.あいさつ」に関しては肯定的な回答が多少増加しているものの。まだ十分とはいえない状態です。学校としての課題の一つとして、ご家庭のご協力を得ながら取り組みを継続していきます。

保護者アンケートに記述いただいた【メープル小児童の良いところ】【メープル小の児童にこうなってほしい】【学校への期待・改善を望むこと・先生に考えてほしいこと】の3項目の要点をまとめました。

～児童の良いところ～

- ◆ 1. 人間関係・雰囲気の良いさ
 - ・ 仲が良く、学年を越えて交流している
 - ・ 分け隔てなく接し、協力し合っている
 - ・ 困っている友だちに静かに寄り添う優しさがある
 - ・ 元気で明るい雰囲気がある
- ◆ 2. 主体性・自分で決める力
 - ・ 自分のことを自分で決められる主体性
 - ・ 行動・発言が伸び伸びしている
 - ・ 自分で考えて判断しようとする姿勢が根付いている
 - ・ 自分で決める経験が多く、行動に自信がある
- ◆ 3. 発信力・活動の推進力
 - ・ 発表の機会が多く、人前でも緊張せずに話せるようになっている
 - ・ 自分の意見や考えを表現する機会が多い
 - ・ 学校行事で主体的に動き、司会や進行を率先して務める推進力がある
- ◆ 4. 思いやり・気遣い
 - ・ 相手の困りごとに気づき、自然に助けようとする
 - ・ 周りの友達に目を向け、協力しながら取り組む習慣がある
- ◆ 5. 基本的な生活・態度の良さ
 - ・ 「お利口さん」と感じられる落ち着いた行動
 - ・ 元気でありながら、良い意味でしっかりしている姿が見られる



子供たちは「仲の良さ」「主体性」「発信力」「思いやり」「基本的な生活態度」の全てにおいて成長が見られ、学年を越えた温かい関係性の中で、自分の考えを表現しながら前向きに活動できる姿を大変高く評価していただきました。

～児童にこうなってほしい（姿）～

- ◆ 1. 挑戦する力・主体性
 - ・ 遠慮せず、何事にも挑戦できる力
 - ・ 自分の考えや思いをためらわずに形にできる子
 - ・ 自ら発信し、嫌なことは嫌と言える自己表現力
- ◆ 2. 思いやり・人との関わり
 - ・ 友だちを思いやり、困っている人を助け合える子ども
 - ・ 陰口を言わず、多様な考えや感じ方を理解し合える関係性
 - ・ 仲良く協力し合い、安心して過ごせる集団
- ◆ 3. 基本的な生活習慣・態度
 - ・ 自分から進んで挨拶ができる人
 - ・ 子どもらしく元気でありながら、しっかりとした芯を持った成長を望む
- ◆ 4. 学びへの向き合い方
 - ・ 一人ひとりの興味・関心を深め、学びや経験
 - ・ 様々な課題に向き合い、解決していく力



◆ 5. 「自分で」から「みんなで」決める力

- ・ 自己決定を土台に、仲間と合意形成を行える力
- ・ 多数決に頼らず、少数意見も大切にした民主的な対話ができる子
- ・ 将来、社会や地域を支える「市民」として成長していくこと

挑戦する主体性」と「思いやりを併せ持ち、自分の考えを発信しながら仲間と民主的に話し合い、学びや経験を楽しみつつ、将来「社会を支える存在」へと成長していく子どもたちの今以上に成長した姿を望んでいることがわかりました。

～学校への期待・改善を望むこと・先生に考えてほしいこと～

- ◆ 1. 学校に期待していること】
 - ・ 一人ひとりに合った、きめ細やかな学習支援
 - ・ 子どもが自分の考えを発言し、さらに深く学べるような指導
 - ・ 子ども主体で行事や学習を進める今のスタイルの継続
 - ・ 子どもの主体性・創造性を伸ばす教育の推進
- ◆ 2. 教育活動・行事で改善を望むこと】
 - ・ 学習発表会での校長挨拶の実施を希望
 - ・ 発表会での 子どもの立ち位置の事前案内（見やすさの改善）
 - ・ 災害を想定した炊き出し等の体験学習の導入
 - ・ 学校祭など 地域・校区外へ公開する行事 の開催を希望
 - ・ 低学年が茶道を体験できる機会の整備（礼節・落ち着きの学習）
- ◆ 3. 先生方に考えてほしいこと】
 - ・ 宿題の実施を希望（特に長期休暇）
 - ・ 子ども主体の話し合いを進める際は、
 - ・ 大人がまず「活動の目的」を明確にし、その目的を子どもに分かりやすく提示、目的に沿って子どもが話し合える環境づくりが大切



宿題や行事運営の改善、きめ細やかな学習支援など、子ども主体の活動の継続を期待する意見を多くいただきました。なお、宿題に関しましては、子供たちの自主性を育てるために廃止としていますが、家庭学習の充実のために帰りの会等で、「家庭学習でやること」を自分で考えて取り組ませるようにしています。ご家庭でも「今日は何やるの？」など、学習内容を確認、さらに前向きに家庭学習に取り組むことができる声かけをお願いします。

次年度に向けて、アンケートの結果について検討し、学校運営に生かして参ります。ご協力に感謝申し上げます。

2月行事予定

2日（月）全校朝会	14日（土）ゆきんこ祭り【予定】
6日（金）新1年生一日入学	16日（月）PTA 役員会・役員選考会
10日（火）スキー遠足	24日（火）集金日
11日（水）建国記念の日	25日（水）家庭学習強調週間（～27日）
13日（金）前期児童会役員選挙	27日（金）参観日・懇談会
スキー遠足予備日	思い出集会